

長野県とその周辺の地震活動

(令和8年8月)

令和8年9月30日

長野地方気象台

【地震活動概況】

1. 長野県とその周辺

8月に、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は5回（前月：8回）でした。8月の県内の最大震度は、23日02時00分 茨城県南部の地震により、南牧村で観測した震度3でした。なお、図1の領域a内で発生した最大規模の地震は、14日04時21分 愛知県西部の地震（深さ291km、M4.5）でした。この地震により、福島県、茨城県、栃木県で震度1を観測しましたが、県内で震度1以上となった市町村はありませんでした（6ページの一口メモ参照）。

詳細は「表2 8月に県内で震度1以上を観測した地震と各地の震度」、「2. 長野県内で震度を観測した主な地震」を参照してください。

表1 県内の震度別回数表（8月および2026年累計）

	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱以上	計
2026年8月	2	2	1	0	0	0	0	5
2026年累計	75	37	13	1	1	1	0	128

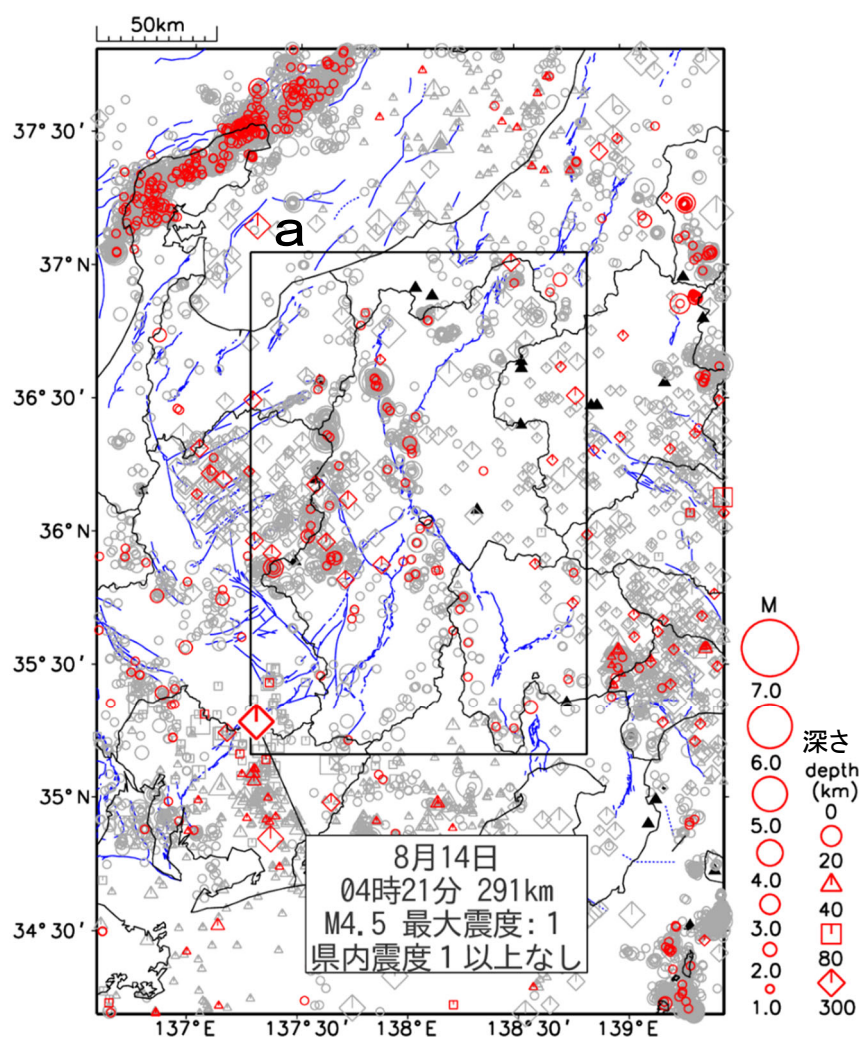


図1 震央分布図

(2025年8月1日～2026年8月31日、深さ0～300 km、M $\geq$ 1.0)

2026年8月の地震は赤色で示しています。概況文に記載した地震に吹き出しを付けています。青色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示します。また、▲は活火山を示します。

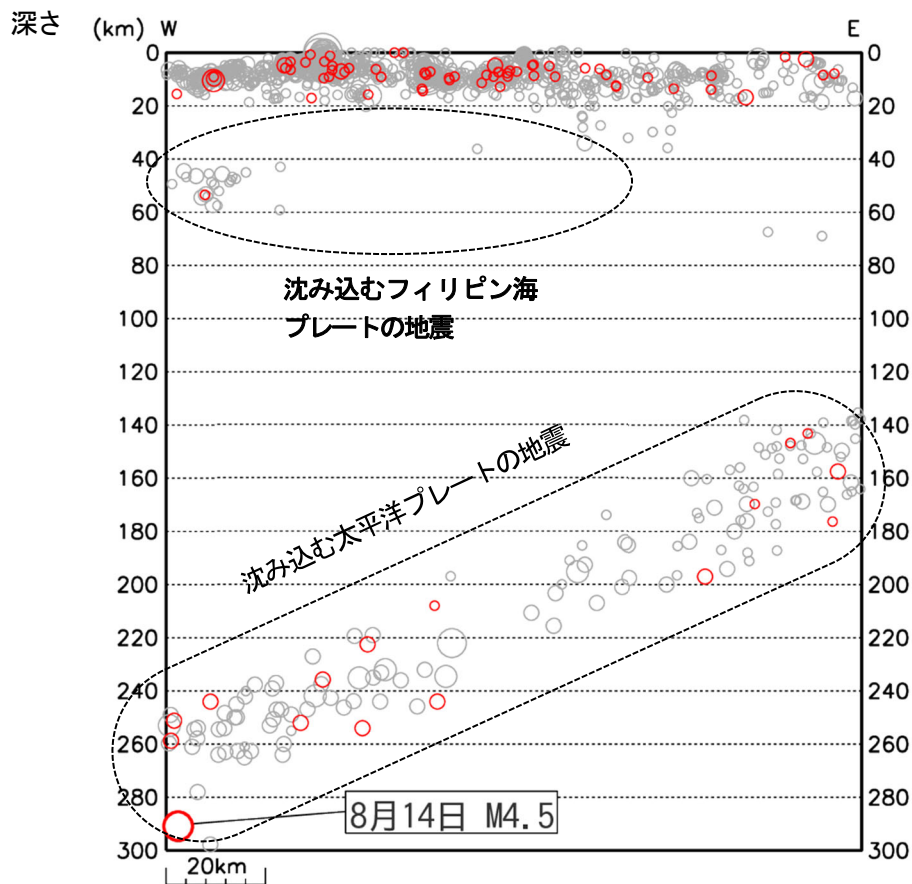


図2 東西断面図（図1の領域a内）

丸の大きさはマグニチュードの大きさを表しています。2026年8月の地震は赤色で示しています。

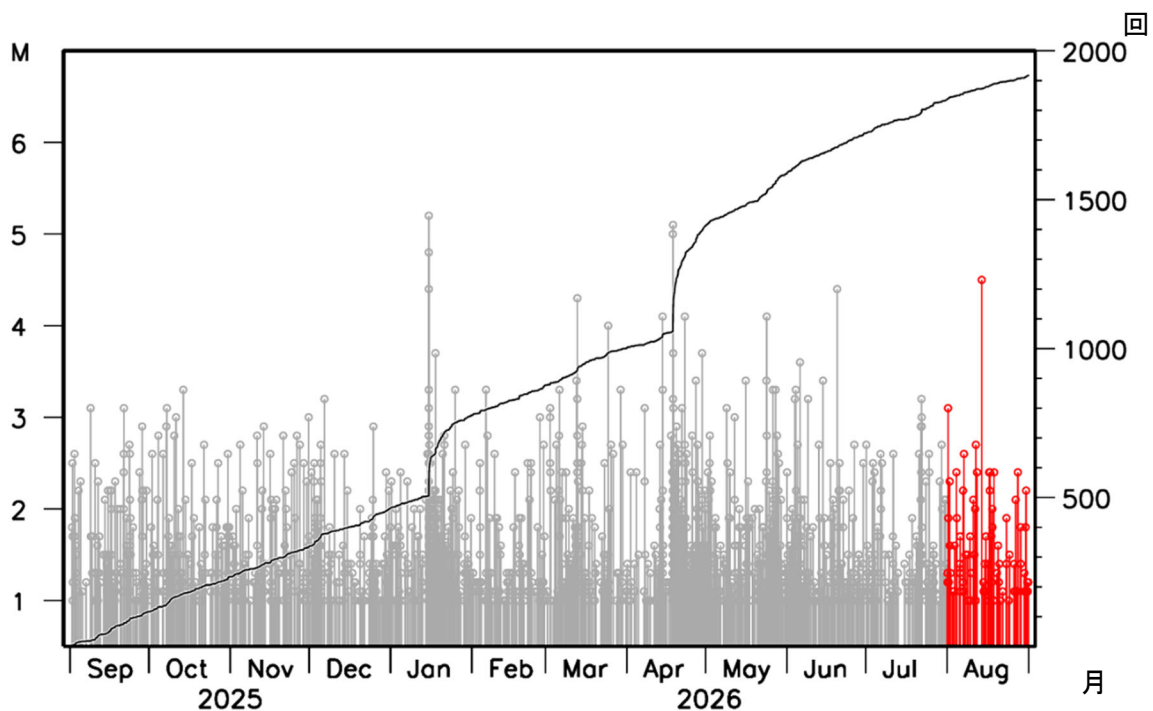


図3 地震活動経過図及び回数積算図（図1の領域a内）

地震発生日時と、マグニチュードの大きさを丸の付いた縦棒で表しています。横軸は年月で、マグニチュードの目盛を左側に示します。2026年8月の地震は赤色で示しています。折れ線グラフは地震の積算回数を表し、目盛を右側に示します。

表2 8月に県内で震度1以上を観測した地震と各地の震度

No.	年 月 日 時 分 震 央 地 名	緯 度	経 度	深 さ	M
1	2026年08月01日08時38分 岐阜県飛騨地方 長野県 震度 2: 木曽町新開* 震度 1: 南木曽町読書小学校*, 王滝村鈴ヶ沢*, 王滝村役場*, 木曽町三岳*	35° 52.1' N	137° 22.8' E	11km	M3.1
2	2026年08月10日00時48分 滋賀県北部 長野県 震度 2: 上松町役場*, 王滝村役場* 震度 1: 諏訪市湖岸通り, 茅野市葛井公園*, 飯田市高羽町, 飯田市上郷黒田* 長野高森町下市田*, 根羽村役場*, 下條村睦沢*, 泰阜村役場* 南木曽町読書小学校*, 南木曽町役場*, 王滝村鈴ヶ沢*, 大桑村長野* 木曽町新開*, 木曽町開田高原西野*, 木曽町三岳*, 木曽町日義*, 木曽町福島*	35° 19.8' N	136° 22.9' E	16km	M4.3
3	2026年08月10日23時14分 長野県南部 長野県 震度 1: 木曽町新開*	35° 54.4' N	137° 39.9' E	7km	M2.1
4	2026年08月21日21時02分 八丈島東方沖 長野県 震度 1: 諏訪市湖岸通り, 茅野市葛井公園*, 佐久市中込*, 長野南牧村海ノ口*	33° 38.8' N	140° 31.6' E	63km	M5.4
5	2026年08月23日02時00分 茨城県南部 長野県 震度 3: 長野南牧村海ノ口* 震度 2: 上田市築地, 諏訪市湖岸通り, 諏訪市高島*, 茅野市葛井公園*, 佐久市中込* 小海町豊里*, 長野川上村大深山*, 軽井沢町追分, 御代田町役場*, 立科町芦田* 富士見町落合*, 原村役場*, 佐久穂町高野町*, 飯田市高羽町, 飯島町飯島* 中川村大草*, 松川町元大島*, 長野高森町下市田*, 木曽町開田高原西野* 震度 1: 長野市箱清水, 長野市戸隠*, 長野市豊野町豊野*, 長野市大岡*, 大町市八坂* 坂城町坂城*, 信濃町柏原東裏*, 栄村北信*, 栄村小赤沢*, 千曲市杭瀬下* 飯綱町芋川*, 松本市沢村, 松本市丸の内*, 松本市寿*, 上田市大手* 上田市下武石*, 岡谷市幸町*, 小諸市小諸消防署*, 小諸市文化センター* 塩尻市櫛川保育園*, 佐久市下小田切, 佐久市望月*, 佐久市臼田*, 佐久市甲* 南相木村見上*, 北相木村役場*, 軽井沢町長倉*, 下諏訪町役場*, 東御市県* 東御市大日向*, 安曇野市穂高支所, 筑北村坂井, 飯田市上郷黒田* 飯田市大久保町*, 飯田市南信濃*, 伊那市高遠町荊口, 伊那市下新田* 駒ヶ根市赤須町*, 辰野町中央, 箕輪町中箕輪*, 南箕輪村役場*, 宮田村役場* 阿南町東條*, 阿智村駒場*, 平谷村役場*, 下條村睦沢*, 泰阜村役場* 喬木村役場*, 豊丘村神稲*, 大鹿村大河原*, 上松町役場* 南木曽町読書小学校*, 南木曽町役場*, 木祖村藪原*, 王滝村鈴ヶ沢* 王滝村役場*, 大桑村長野*, 木曽町新開*, 木曽町三岳*, 木曽町日義*	35° 59.9' N	140° 05.7' E	68km	M5.9

*の地点は、地方公共団体(長野県、松本市、大町市、栄村)または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

各地の震度は、気象庁ホームページの「震度データベース検索」でも検索することができます。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>

2. 長野県内で震度を観測した主な地震

令和8年8月1日 岐阜県飛騨地方の地震

1日08時38分 岐阜県飛騨地方の地震（深さ11km、M3.1）により、木曽町で震度2を観測したほか、南木曽町、王滝村および岐阜県で震度1を観測しました。

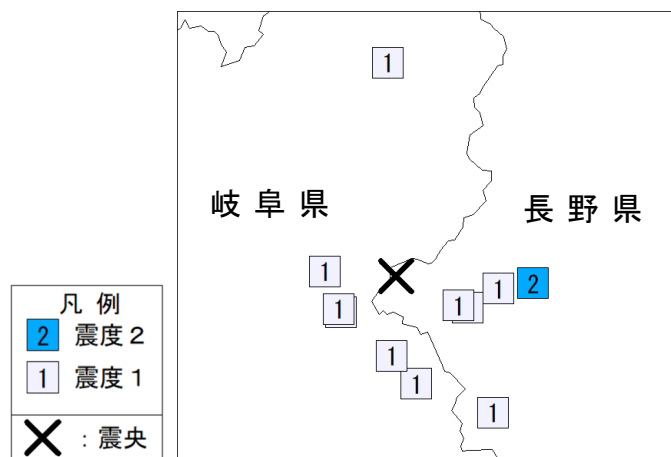


図4 8月1日 岐阜県飛騨地方の地震の震度分布図（地点別）

令和8年8月10日 滋賀県北部の地震

10日00時48分 滋賀県北部の地震（深さ16km、M4.3）により、岐阜県と滋賀県内で震度3を観測したほか、中部地方から中国地方にかけて震度2～1を観測しました。長野県では上松町、王滝村で震度2を観測したほか、長野県中部・南部で震度1を観測しました。

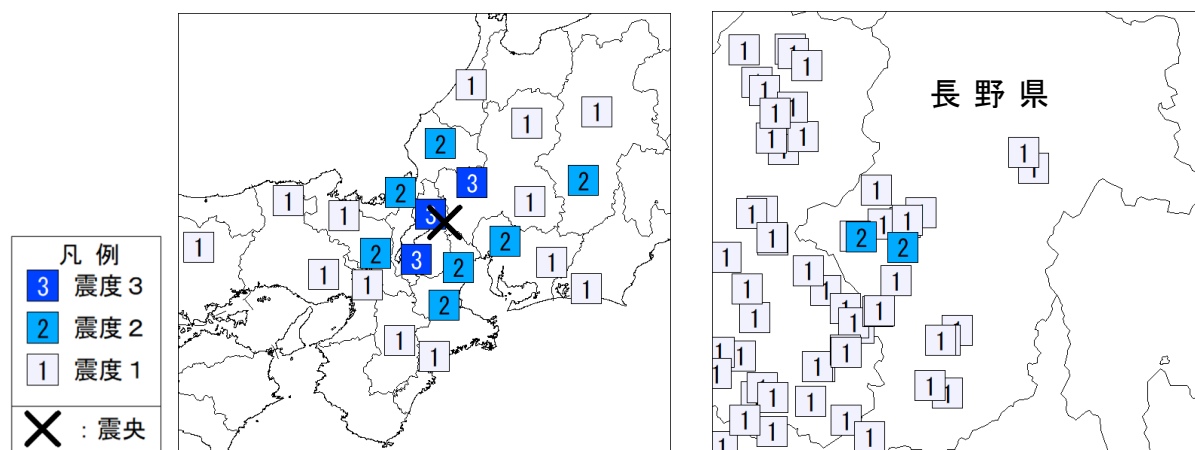


図5 8月10日 滋賀県北部の地震の震度分布図（左：地域別、右：地点別）

令和8年8月23日 茨城県南部の地震

23日02時00分 茨城県南部の地震（深さ68km、M5.9）により、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都で震度5弱を観測したほか、東北地方から近畿地方にかけて震度4～1を観測しました。長野県では南牧村で震度3を観測したほか、県内の広い範囲で震度2～1を観測しました。

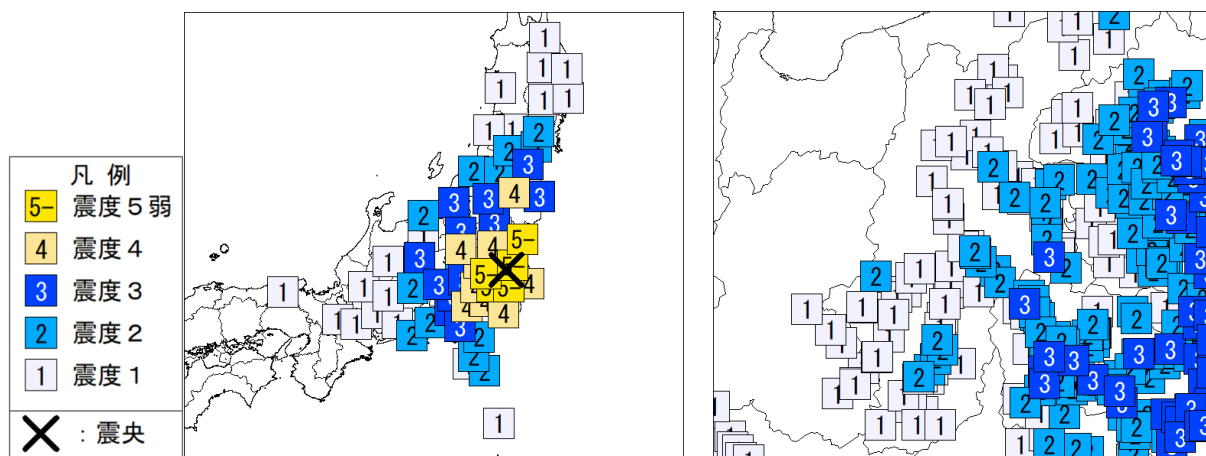


図6 8月23日 茨城県南部の地震の震度分布図（左：地域別、右：地点別）

【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会】

評価検討会は令和8年9月7日に行われています。現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

・詳細はこちらから <https://www.data.jma.go.jp/svd/eeew/data/nteq/index.html>

南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率は高い（詳細は「南海トラフの地震活動の長期評価（第二版一部改訂）」※参照）と評価されており、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

※地震調査研究推進本部 HP https://www.jishin.go.jp/main/chousa/kaikou_pdf/nankai_3.pdf

本資料中、マグニチュードをMと略記しています。

気象庁では地震の震源、マグニチュード等を算出するにあたり、国立大学法人などの関係機関から地震観測データの提供を受け（注）、文部科学省と協力して処理を行っています。

また、震度の情報は、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供された観測データを含めて発表しています。

（注）本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

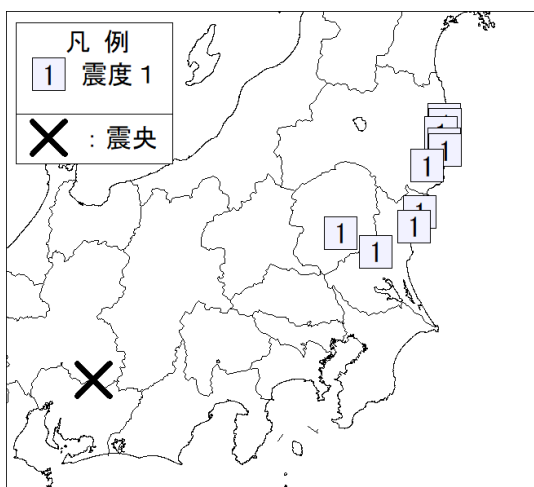
一口メモ

異常震域について

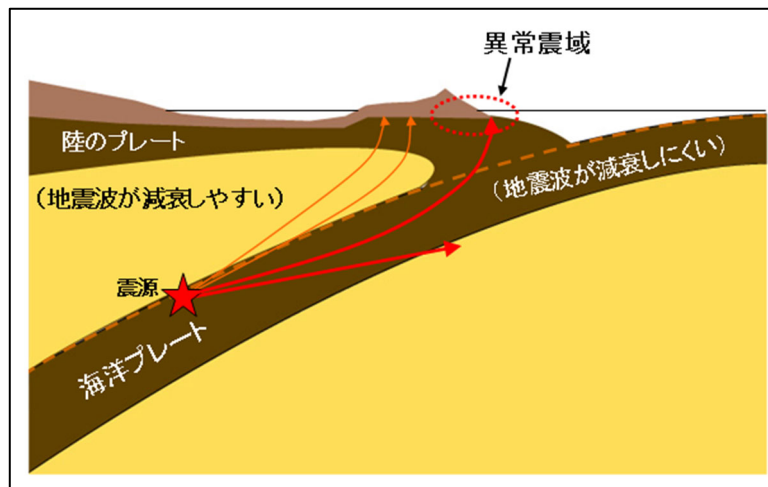
8月14日04時21分に発生した愛知県西部の地震（深さ291km、M4.5）では、震源から遠く離れた福島県、茨城県、栃木県で震度1を観測しましたが、長野県内を含め、震源の真上付近で震度1以上となった地点はありませんでした。

このように震源が非常に深い地震では、震源の真上ではほとんど揺れを感じないにもかかわらず、震源から遠く離れた太平洋側の場所で揺れを感じることがあります。この現象は、「異常震域」という名称で知られています。原因は、地球内部の岩盤の性質の違いによるものです。

大陸プレートの地下深くまで太平洋プレートなどの海洋プレートが潜り込んで（沈み込んで）います。通常、地震波は震源から遠くになるほど減衰するものですが、この海洋プレートは地震波をあまり減衰せずに伝えやすい性質を持っています。このため、沈み込んだ海洋プレートのかなり深い場所で地震が発生すると（深発地震）、震源の真上へ向かう地震波は減衰しやすい領域を通るため、揺れが弱まりますが、海洋プレートでは地震波はあまり減衰せずに伝わり太平洋側に揺れを伝えます。その結果、震源直上の地表での揺れ（震度）が小さくとも、太平洋側で震度が大きくなります。



8月14日愛知県西部の震度分布図（地点別）



異常震域のイメージ図

気象庁 HP よくお寄せいただく質問「震度・マグニチュード・地震情報について」

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/faq/faq27.html>

本資料は速報資料です。後日内容を変更する場合があります。

「長野県とその周辺の地震活動」は、長野地方気象台ホームページに掲載しています。

長野地方気象台 <https://www.data.jma.go.jp/nagano/>

問い合わせ先：長野地方気象台 地震担当（026-232-3773）